

供覽 丙

情第一二六六號

昭和十八年七月二十四日

臺灣總督官房情報課長

小澤 太



事務官

管理局長



監理課長

內務省管理局長殿

管監第391号  
18.8.9  
内務省管理向

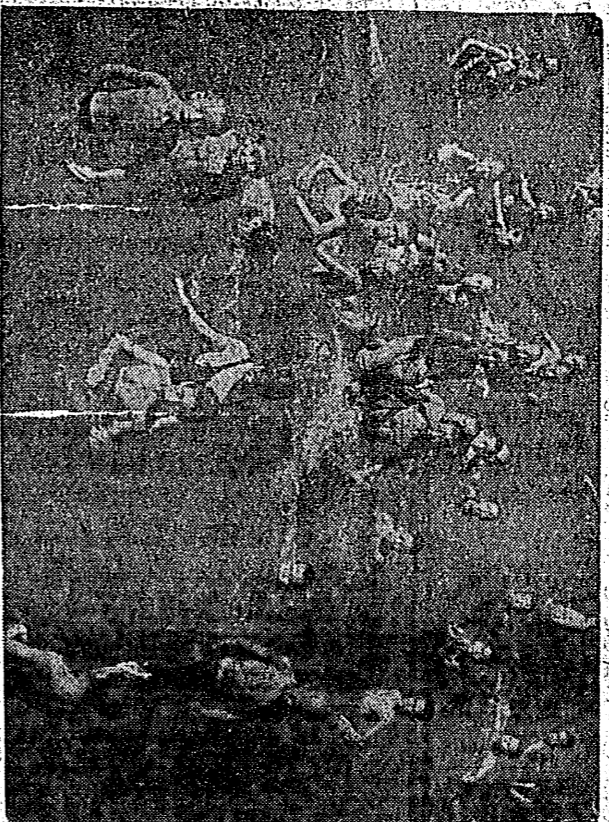
18.8.9  
内務

「奉公班回覽板」送付ノ件

皇民奉公會刊行ニ係ル「八月號奉公班回覽板」ノ部御參  
考迄及送付候也







みんな泳げるやうに 古しませう

**「猛暑も何のその」**  
**心身を鍛へませう**  
**ラジヲ体操と皆泳運動**

猛暑も何のその。八月の猛暑は、昔ほどひどい。心身を鍛へませう。ラジヲ体操と皆泳運動。八月の猛暑は、昔ほどひどい。心身を鍛へませう。ラジヲ体操と皆泳運動。八月の猛暑は、昔ほどひどい。心身を鍛へませう。ラジヲ体操と皆泳運動。

### 家ごじに必ず

**菟麻を植ゑませう。**  
**荒蕪に不自由させるな**

菟麻の種子は北... 菟麻の種子は北... 菟麻の種子は北... 菟麻の種子は北... 菟麻の種子は北...

### 全島各地で開く

**敬博模聖展覧會**  
 敬博模聖展覧會。敬博模聖展覧會。敬博模聖展覧會。敬博模聖展覧會。敬博模聖展覧會。




航空展

航空展。航空展。航空展。航空展。航空展。航空展。航空展。航空展。航空展。航空展。

### 大詔奉戴日の歌

大詔奉戴日の歌。大詔奉戴日の歌。大詔奉戴日の歌。大詔奉戴日の歌。大詔奉戴日の歌。

大詔奉戴日の歌。大詔奉戴日の歌。大詔奉戴日の歌。大詔奉戴日の歌。大詔奉戴日の歌。

省 及 號 局 議 合								日 月 付 受 及 號 省		
第 第 第 第 第 第 第 第	號 號 號 號 號 號 號 號	送 送 送 送 送 送 送 送	月 月 月 月 月 月 月 月	日 日 日 日 日 日 日 日	<div style="text-align: center;">  </div>				昭 和 十 八 年 七 月 二 十 七 日 局 受 第 日 號 局 送 月 日	決 判 月 日 文 書 課 長 施 行 日 號 局 送 月 日 昭 和 十 八 年 七 月 二 十 七 日
案 起	<p>             木 臣              次 官 了 文 書 課 長 兼 總 務 課 長              監 理 課 長              民 政 課 長              總 務 課 長              地方 局 長 兼 監 理 課 長              會 議 局 長 兼 監 理 課 長              會 議 局 長 兼 監 理 課 長              會 議 局 長 兼 監 理 課 長           </p>									

REEL No. A-0510

日		
第	第	第
號	號	號
送	送	送
受	受	受
月	月	月
月	月	月
日	日	日

以テ同會ニ付内務省後援レテ字句使用

許子才申渡有之タリ付左安ホノ通

許子相承可也哉

仰高裁

備子 朝鮮聯盟(ハ)聯合會子(ハ)東洋通運會

安ホ

番 號

昭和十八年七月 日

内務省

大政翼賛會事務總長 宛

兵制發展記念行事ニ關スル内務省後援ノ字句使用ノ件

昭和十八年七月三十一日附總宣第三七一號ヲ以テ申請ニ係ル  
標記ノ件承認相込候條中了知相込度

大日本帝國政府

(折上國定相持貼付ニシテ出札)



總宣 第三七一號

昭和十八年七月廿三日

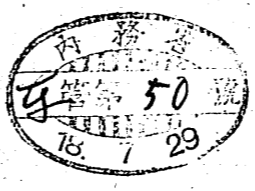
大政翼贊會事務總長 丸山 鶴

内務次官 殿



後援方申請

本會主催ヲ以テ別紙要項ニ基キ「兵制籌備記念行事」實施致度候ニ付  
テハ御後援方御許可相成度此段及申請候也



兵制發展記念行事實施要綱

第一方 針

昭和十八年八月一日ヨリ兵役法中改正法律施行セラレ新タニ半島同胞男子ニシテ十七歳以上明年適齡迄ノ者ハ直ニ第二國民兵役ト爲リ其ノ一部ハ明年軍隊ニ入營セシメラム  
今次新徴兵制ノ實施ハ獨リ半島同胞ノ光榮タルノミナラズ是實ニ皇國永遠ノ國防力ノ強化ニシテ大東亞戰爭必勝ノ信念ヲ彌々鞏固ナラシムル所以ノ途ナリ即チ皇國臣民齊シク此ノ趨旨ヲ体シ内地同胞ハ半島同胞ニ對スル認識ヲ深クシ眞ノ戰友トシテ信愛敬導シ半島同胞ハ其ノ重責ヲ目覺シ資質同上ニ努メ以テ其ノ心ヲ一ニシ宏大ナル望望ニ應ヘ奉ラムコトヲ期セザルベカラズ、是レ本會ガ八月一日ヲ期シ兵制發展記念行事ヲ實施スル所以ナリ

第二要 領

一、實施機關

(一) 内地ニ在リテハ左ノ通りトス

主 催 大政翼贊會

後 援 陸軍省、海軍省、内務省、大東亞省、厚生省、文部省、情報局、帝國花柳病協會

(二) 中央協和會、朝鮮獎學會、中央朝鮮協會ニ對シテハ本案ヲ提示シテ協力ヲ求ムルコト

(三) 朝鮮、關東州、滿洲國等ニ在リテハ國民總力朝鮮聯盟、關東州興亞

奉公聯盟、滿洲帝國協和會等之ヲ主催シ後援等ハ(一)ニ準ジ適宜定ム

ルモノトス

ニ、實施要項

本運動ハ内地、朝鮮、關東州、滿洲國相呼應シテ開催スルコトトシ内地ニ在リテハ左ノ要項ニ依リ實施シ朝鮮、關東州、滿洲國等ニ在リテハ右ニ準ジ適宜要項ヲ定メ實施スルモノトス

(一) 壯丁士氣昂揚大會

全國一齊動員、八月一日午前七時(地方ハ狀況ニ依リ随天動員ヲ可トス)



滿十七歳ヨリ十九歳ニ至ル四齡青年學校生徒、中等學校生徒専門學  
 校生徒其ノ他、明年ノ内務同胞運動會ヲシテ本運動ノ方針ヲ具現シ  
 士氣ノ昂揚ヲ圖ルヲ以テ目的トス  
 東京ニ於テハ東京都ト共同主催トシ、靖國神社前ニ於イテ副催  
 天皇陛下高麗ノ三唱、徵兵ノ昭々讀其ノ他ノ行琴ヲ行ヒタル後  
 宮城前迄徒歩行軍遊拜ノ上解散スルモノトス  
 2. 道府縣ニ於テハ概ネ東京ニ準ジ地方的事情ヲ斟酌シ早朝護國神社  
 等ノ參拜其ノ他ノ行琴ヲ行フモノトス  
 但シ大會ノ副催ニ當リテハ戰爭ノ現段階ニ歸ミ生産ニ障害ヲ及ボス  
 スガ如キハ極力回避セラレ、コレガタメ地方ノ事情ニ應ジ、ナル  
 ベク隨天動員等ヲ考慮セラレタキコト  
 尙、在内地半島壯丁動員ニ關シテハ協和會ニ協力方ヲ依頼シア  
 ニヨリ貴地方ニ於テモ同會支部ト充分御連絡セラレタキコト  
 壯丁士氣昂揚大會（東京）次第（案）

一、案 合 （靖國神社）

二、開 會

一、國民祝禮

- 一、徵兵ノ詔奉讀
- 一、宣戰ノ大詔奉讀
- 一、眞實會代表挨拶 (五分)
- 一、東京都長官挨拶 (五分)
- 一、陸海軍側ノ激勵ノ辭 (廿分)
- 一、決意表明 壯丁代表一名
- 一、海ゆかば齊唱
- 一、萬 歳
- 一、閉 會
- 一、宮城へ向ヒ行進
- 一、順次宮城前ヲ遊拜、萬歳三唱
- 一、散 會

(註) 服裝ハ敎師服、國民服、團服其ノ他制服ニ各ゲート  
 ル着用フコト

(一) 講演會

東京及大阪ニ於テ「兵制發展記念大講演會」(假稱)ヲ開催スルコト

講師ニハ特ニ陸海軍現役將校ヲ登壇スルコト

1日 時 東京 八月一日午後一時半 (豫定)

大阪 八月一日午後一時半 (豫定)

2會 場 東京 共立講堂 (豫定)

大阪 中之島公會堂

3講 師 陸軍報道部長、海軍報道部長、皇道朝鮮研究委員(加藤武雄、古谷綱武外)等

(二) 放送

放送局ニ協力ヲ求メテ次ノ如キ放送ヲナスコト

1 八月一日

イ、國民總力朝鮮聯盟總演(午前六時五分)

ロ、大政翼實會總演(午後七時報道後)

ハ、ニュース中ニ強調シ、朝鮮社丁ノ放送等ヲ入レルコト

ニ、ラジオドラマ「若キ姿」(一夜)

又八月七日 八月一日ノ放送要旨ヲ常會放送ニ收入レルコト

(四) 宣傳宣傳

1 新聞雜誌等報道機關ノ協力ヲ求メ適宜啓蒙宣傳ヲ爲スモノトス

2 窓新聞、壁新聞ノ作製

3 「大政翼實」ニ記事掲載

(四) 展覽會ノ開催(東京ニ於テ)

大東亞戰爭下ノ半島又ハ半島同胞ノ實情ヲ紹介スル爲東京都ニ於テ開

催スルモノトス

期 間 自八月一日 至八月七日

場 所 銀座松屋地下道

(五) 移動映畫會

兵制發展記念映畫會

主 催 大政翼實會本部

擔 當 朝鮮映畫

期 間 自八月一日 至八月末日 正味二十五日間

使用帳書 朝 鮮 時 報 吾等今夕 仰 天 空

(出) みたみわら 歌唱指導地方派遣  
(内) 移動演説隊の方針  
(内) 移動演説隊の方針

上記(内)の例に十分乃至十分ノ詳演ヲ中ニ取り入レルコト  
(註) 歌唱指導隊ノ編成曲目ニ國民協和ノ歌(興賢會、協和會ト共  
同募集、橋本邦彦作曲)ヲ加ヘルコト